

# 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年4月28日
作成 高齢者支援センター	忠生第1
作成者	神成泰行

1.開催日時	2023年4月20日	(木)	18:00	～	19:00	
2.会場	オンライン開催					
3.主催センター	忠生1	・	忠生2	・		
4.参加人数	16人					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	6人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	3人	(うち、医師 2人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	4人	
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	( 障がい支援センター 1人 )				
6.開催テーマ	支え合いの町忠生「災害と感染症の中での私たちの暮らし」					
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>2年前に開催予定であったが、感染症拡大にともない話し合いができなかった。この2年間において医療・福祉関係者がどのような取り組みをしてきたかの情報共有から課題の抽出をおこなう。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>再度の流行が到来した時に行動制限等、また元に戻すのではない対策を検討する必要がある。これまで各医療・福祉機関が行ってきた感染対策について、医療的な根拠に基づいた整理を行う必要がある。</p>					
8.会議の内容	<p>3月11日に行われた「災害と感染症の中での私たちの暮らし」の本会議の振り返りを行う。この会議での内容を地域住民にフィードバックする方法を話し合い、今後の「支え合いの町忠生」についての内容と進め方について検討する。「支え合いの町忠生」での本会議は、これまで参集で行っていたので、ハイブリット方式では初めてだったため、グループワーク時にトラブルがあった等の反省点があった。新型コロナウイルスの感染状況にはよるが、次回はできるだけ参集で行うことを確認し、感染状況によってはハイブリット方式での開催も検討する。</p>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>今後については、ウイズコロナの取り組みについて地域にフィードバックするために、チラシを作成し各機関の専門職及び地域住民に周知する。新型コロナウイルスが全くなくなることはないことから、災害時における新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもあることを共有した。災害時に行政の助けがない48時間を想定して、地域でどのように助け合っていくのかルールづくりをすることで、忠生圏域の方たちが安心して暮らしていけるように検討する必要がある。そのためには、行政の防災課等の話を聞く機会を設け、部会を立ち上げる等細かな話し合いを続けていく。</p>					
10.その他						

医療と介護の連携支援センター 確認日	2023年 5月 1日
--------------------	-------------